平成22年度　事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	営農指導員報酬	部課ｺｰﾄﾞ	0647	予算事業科目	010601060105	事	単	区分		継続	
所管部署 担当部局	農林水産部	部局長名（２次評価者）	水口　俊智	個別事務		010601060105	－				
担当部署	土佐山地域振興課	所属長名（１次評価者）	川村　幸久				－				
電話番号	088-895-2311	E-mail	KC-270400@city.kochi.jg.jp				－				

１ 事業の位置付け

予算科目（平成21年度）			高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	01	一般会計	目標	01	新しい価値を創造発信する都市	政策基本方針	生産性の向上や後継者の育成など経営基盤の強化を図るとともに，自然と共存し，都市と調和する農林漁業の振興を図ります。
款	06	農林水産業費	政策	05	都市と調和した農林漁業の振興		
項	01	農業費	施策	08	その他の農林漁業の振興		
目	06	中山間振興費	区分	01	中山間地域の振興		

２ 事業の根拠

法律・政令・省令		法定受託事務	
県条例・規則・要綱等			
市条例・規則・要綱等			
その他（計画，覚書等）	『ゆず香る中山間地域の創造』パートナーズ協定書		

３ 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	高知市の中山間地域の農業者		
意図	どのような状態にしていくのか	高知市のユズの生産振興（面積拡大・栽培技術の向上）を図る。		
手段	事業実施体制等	ユズ専門指導員を配置し生産し加工を図る。 ユズ関係技術職員連絡会（普及所・ＪＡ・市）を毎月1回開催	事業開始年度	平成19年度
			事業終了年度	平成24年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	●栽培技術の向上 ●ユズ栽培データの集積・調査・公表 ●優良母樹の選抜 ●地域内育苗の支援 ●新規栽培者の栽培技術の向上		

成果指標		事業目的の成果を測る指標	指標設定の考え方
	A	栽培面積の拡大	中山間地域の生産面積の推移
	B	生産農家の拡大	高知市土佐山柚子生産農家の推移
	C		

４ 事業の実績等

				19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄
成果指標	A	栽培面積の拡大	目標	48.25ha	50.00ha	55.00ｈａ	60.00ｈａ	平成23年度目標　61.19ｈａ
			実績	48.25ｈａ	51.75ｈａ	56.70ｈａ		
	B	生産農家の拡大	目標	116人	120人	125人	130人	平成23年度目標　130人
			実績	116人	126人	155人		
	C		目標					
			実績					
投入コスト	①事業費	決算額	（千円）	2,318	2,329	2,330	2,330	22年度は当初予算額
		財源内訳 国費	（千円）					
		県費	（千円）					
		市債	（千円）					
		その他	（千円）	2,318	2,329	2,330	2,330	地域振興基金利子の充当
		一般財源	（千円）					
		翌年度への繰越額	（千円）					
	②概算人件費等	人件費等	（千円）	1,125	1,125	1,125	1,125	
		正規職員	（千円）	1,125	1,125	1,125	1,125	
		その他	（千円）	0	0	0	0	
		人役数	（人）	0.15	0.15	0.15	0.15	
		正規職員	（人）					
		その他	（人）					
	総コスト＝ ① ＋ ②		（千円）	3,443	3,454	3,455	3,455	
	市民１人当たりコスト		（円）	10	10	10		総ｺｽﾄ/年度末人口
	年度末住民基本台帳人数		（人）	341,544	340,695	339,714		

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

● ユズの生産は，土佐山地域から中山間地域全体に拡大している。（土佐山地域125戸・鏡地域18戸・旧高知市12戸）
● ユズの新たな母樹を確保するためウイルス検査などを実施し，複製母樹を選定し優良苗木の確保が可能となった。

6 １次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 28 日）

評価項目			評価基準		1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	①	〔施策体系等での位置付け〕 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニュフェスト等の目標達成に結びつくか，又は，事業の根拠等に結びつくか	A (5)	結びつく	A	5.0	平成20年3月28日に旭食品株式会社と高知市土佐山柚子生産組合と高知市で締結した『ゆず香る中山間地域の創造』パートナーズ協定書に基づき，平成24年度までユズ専門指導員を配置することとなっている。 中山間振興審議会の答申で有望品目とされ，安定販売が見込まれることから，新規作付け農家も多いユズの安定的な生産拡大を図るため指導員を配置し，生産振興に努めるもの。
			B (3)	一部結びつく			
			C (1)	あまり結びつかない			
			D (0)	結びつかない			
	②	〔市民ニーズの傾向〕 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5)	非常に多い，急増している	A		
			B (3)	横ばいである			
			C (1)	少ない，減少している			
			D (0)	ほとんどない			
事業内容の有効性	③	〔成果の達成状況〕 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5)	十分に達成している	A	4.0	成果指標とした目標（平成23年度とした「強い農業づくり交付金実施計画」）の生産面積では，順調な伸びを示し，生産農家数では，目標を上回る生産農家の増加となっている。
			B (3)	概ね達成している			
			C (1)	あまり順調ではない			
			D (0)	十分な成果を望めない			
	④	〔事業の手法・活動内容〕 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5)	妥当である	B		
			B (3)	概ね妥当である			
			C (1)	検討の余地がある			
			D (0)	見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤	〔アウトソーシングの可能性〕 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5)	実施済・できない	A	4.0	旭食品株式会社などと締結した『ゆず香る中山間地域の創造』パートナーズ協定書に基づき，平成24年度まで高知市にユズ専門指導員を配置するもので，平成25年度以降については，地域ニーズや関係機関と協議し継続について検討すべき事項である。
			B (3)	行政主体が望ましい			
			C (1)	検討の余地はある			
			D (0)	十分可能である			
	⑥	〔事業統合・連携・コスト削減〕 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5)	現状が望ましい・できない	B		
			B (3)	概ね効率的にできている			
			C (1)	検討の余地がある			
			D (0)	十分可能である			
事業実施の公平性	⑦	〔受益者の偏り〕 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5)	極めて公平性が高い	B	3.0	中山間地域の農業者を中心として事業を実施しており受益者に偏り等はない。 負担割合については，中山間振興基金の利子を充当して実施している。 『ゆず香る中山間地域の創造』パートナーズ協定書に基づき，旭食品株式会社から平成21年度より5ヵ年1,000千円の協賛金を高知市にいただき、柚子の育苗対策事業に活用している。
			B (3)	概ね保たれている			
			C (1)	偏っている			
			D (0)	公平性を欠いている			
	⑧	〔受益者負担の適正化〕 事業実施の財源として，受益者負担割合(一般財源負担割合)は妥当か。 補助金等交付事業の場合，対象経費は妥当か。	A (5)	適正な負担割合である	B		
			B (3)	概ね適正な負担割合である			
			C (1)	検討の余地がある			
			D (0)	検討すべきである			

総合点	16.0	総合評価		
			○ A 事業継続	（総合点が16点以上で，各項目の平均点数がいずれも２点を超える場合）
			B 経費削減に努め事業継続	（総合点が12点以上16点未満で，各項目の平均点数がいずれも２点を超える場合）
			C 事業縮小・再構築の検討	（総合点が４点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで２点以下がある場合）
			D 事業廃止・凍結の検討	（総合点が４点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで１点以下がある場合）

7 ２次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 30 日）

総合評価		評価理由・今後の方向性等
○	A 事業継続	パートナーズ協定に基づき平成24年度まで実施するもので，その後は，地域農業の実情や事業原資などを考慮のうえ事業の存廃について判断が求められる。
	B 経費削減に努め事業継続	
	C 事業縮小・再構築の検討	
	D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項